



酒田市立資料館 第216回企画展

かっこいい 酒田の女たち

令和2年

開催
期間

4月4日(土)～6月15日(月)

開館時間

午前9時～午後4時30分
会期中無休

入館料

一般200円、高校生90円、小中学生50円
(小中学生は土日無料)

★5月5日(こどもの日)、5月19・20・21日(酒田まつり)は無料★



酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8-16

TEL/FAX: 0234-24-6544

✉ sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp

1. 酒田の女性教師の先駆けとなった小川宮子／明治
2. 「希望」などのヒット曲で知られる歌手・岸洋子／昭和
3. 北前船文化をしのぼせる酒田の芸妓／昭和
4. 酒田港で船の荷を運ぶ女丁持ち／明治中期



かっこいい 酒田の女たち

酒田の開祖は、奥州藤原氏が源頼朝に滅ぼされた時に36人の遺臣とともに、袖の浦（現在の宮野浦地区）に逃げ延びてきた女性「徳尼公」といわれています。その後、酒田の歴史の表舞台に女性が登場することはありませんでしたが、明治以降、さまざまな職業のパイオニアとして活躍する女性や、文化・芸術分野で才能を開花させる女性が現れました。

今なお多くのファンに愛され続ける歌手・岸洋子、女性パイロットの先駆けとなった本登勝代をはじめ、酒田の地で力強く働いた山居倉庫の女丁持ちなど、有名無名を問わず、さまざまな分野で活躍した女性たちを紹介します。



岸洋子、市原多朗氏などを育てた
声楽家・加藤千恵／ボカ
ルスタジオ提供



昭和34年（1959）、加藤千恵が指導したボ
ーカルスタジオによる市民オペラ「フィガロの結婚」
／（公財）本間美術館提供



山居倉庫で米の運搬に従事
した女丁持ち。戦後、労働基
準法の施行などにより、その
姿を消した。



大正3年（1914）に開通した羽越本線の開設工事を請け負った竹内組の女性現場監督（向かって左下）。写真は、酒田駅と最上川駅（現在の酒田港駅）を結ぶ臨港線の工事現場で撮った写真。



日本の女性飛行士の先駆けとなった本登勝代。
昭和4年（1929）、酒田の友人と立川の日本飛行学校で
撮ったと思われる／個人提供

展示で紹介する女性たち／五十音順

阿部八重（看護師）、石綿きたよ（社会事業家）、
今咲屋咲江（芸妓）、小川宮子（教育者）、
加藤千恵（声楽家）、菊池リウ（文人）、
岸洋子（歌手）、斎藤辰（教育者）、
戸田みつき（画家）、原のぶ子（服飾デザイナー）、
本登勝代（飛行士）、森万紀子（小説家）



明治から大正にかけて、舞踊、箏曲の
師匠として数百人の門人を指導した
酒田の名妓・今咲屋咲江

資料館調査員による展示解説

日時／4月25日（土） 午前10時～（1時間程度）
会場／酒田市立資料館1階企画展示室
料金／無料（入館料別途必要）
申込／4月4日（土）より受け付け
※駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問
い合わせください。
☎ Tel 0234-24-6544

展示協力

阿部辰修氏、阿部政司氏、佐藤艸子氏、島田良彦氏、竹内忠氏、学校法人天真林昌学園、富樫久美氏、（公財）本間美術館、ボカールスタジオ、酒田市立光丘文庫、松山文化伝承館